

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	バリアフリー・ユニバーサルデザイン施策推進経費			担当部局庁	政策統括官(共生社会政策担当)	作成責任者	
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総合調整担当	参事官 相川哲也	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱(平成16年6月1日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)			関係する計画、通知等	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領(平成13年11月6日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)		
主要政策・施策	高齢社会対策、障害者施策			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績の者を顕彰し、その優れた取組を広く普及させること等を通じ、バリアフリーやユニバーサルデザインが当然のこととして理解され、共生社会の実現が図られることを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の設備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、顕著な功績又は功労のあった個人又は団体に対して、内閣総理大臣表彰又は内閣府特命担当大臣(高齢社会対策又は障害者施策担当)から表彰し、事例集を作成してホームページでの公表等により普及を図るとともに、インターネットによるバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査を実施。						
実施方法	直接実施、委託・請負						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
		計	5	5	5	4	0
	執行額	3	2	2			
	執行率(%)	60%	40%	40%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	60%	40%	40%			
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	2					
	委員等旅費	1					
	庁費	1					
	職員旅費	0					
	計	4	0				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度				
							29年度	30年度	29年度	30年度			
バリアフリーの認知度を100%にする。	バリアフリーの認知度	成果実績	%	94.1	93.6	92	-	-	-	-			
		目標値	%	100	100	100	100	-	-	-			
		達成度	%	94.1	93.6	92	-	-	-	-			
根拠として用いた統計・データ名(出典)	・バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査報告書(平成29年3月 内閣府) ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱(平成16年6月1日 バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)												
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度				
							29年度	30年度	29年度	30年度			
							車いすの方が進めなくなったり、視覚障害をもっている方が駅で迷っている際に声をかけて手助けをしたいと思います人の比率を調査を開始した時点(78.4%)以上	「心のバリアフリー」推進状況	成果実績	%	-	78.4	74
目標値	%	-	-	-	78.4	-	-	-	-				
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-				
根拠として用いた統計・データ名(出典)	・バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査報告書(平成29年3月 内閣府)												
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度				
							29年度	30年度	29年度	30年度			
							「バリアフリー・ユニバーサルデザイン調査」ホームページアクセス件数2千件以上	「バリアフリー・ユニバーサルデザイン調査」ホームページアクセス件数	成果実績	件	926	1,188	1,531
目標値	件	-	-	-	2,000	-	-	-	-				
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-				
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-												
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度				
							29年度	30年度	29年度	30年度			
							「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」ホームページアクセス件数2万件以上	「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」ホームページアクセス件数	成果実績	件	17,652	13,202	7,416
目標値	件	-	-	-	20,000	-	-	-	-				
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-				
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-												
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック						
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度		30年度					
						活動実績	活動見込	活動見込	活動見込				
						バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰	回数	1	1	1	-	-	-
当初見込み	回数	1	1	1	1	-	-	-					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度		30年度					
						インターネットによるバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査	活動実績	回数	1	1	1	-	-
						当初見込み	回数	1	1	1	1	-	-
単位当たり コスト	算出根拠	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込							
						X=バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰経費の決算額/Y=実施回数	単位当たりコスト	百万円	2	0.7	1.3	3	
						計算式	X/Y	2.0/1	0.7/1	1.3/1	3/1		
単位当たり コスト	算出根拠	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込							
						X=インターネットによるバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査経費の決算額/Y=実施回数	単位当たりコスト	百万円	1	1	1	1	
						計算式	X/Y	1/1	1/1	1/1	1/1		

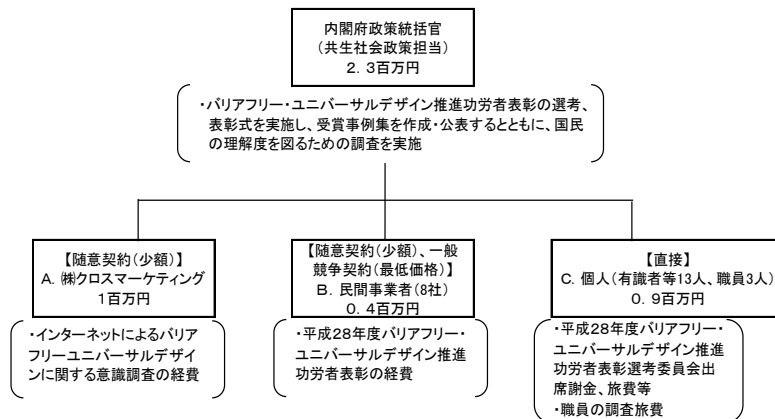
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	12. 共生社会実現のための施策の推進							
	施策	④バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する広報啓発、調査研究等							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		バリアフリーの認知度	実績値	%	94.1	93.6	92	-	-
			目標値	%	100	100	100	-	100
		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		調査結果の活用状況の検証 (ホームページアクセス数)	実績値	件	926	1,188	1,531	-	-
			目標値	件	445	926	1,188	-	1,188
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	共生社会の実現を図るため、バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績の者を顕彰し、その優れた取組をホームページ等で広く普及させてきているとともに、各年度の調査結果の活用状況の検証を行っており、一定の成果を挙げてきたところであるが、バリアフリーの認知度により国民の理解度を計り、その認知度100%を目標として引き続き事業を推進する。								

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	障害者、高齢者を含む全ての人が安全で快適な社会生活を送っていく上で、バリアとなるものを除去するとともに、施設や製品等について誰にとっても利用しやすくデザインするという考え方が必要であり、この両方に基づく取組を併せて推進することが求められており、本事業は社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する関係閣僚会議決定に基づき、表彰に関する事務を、関係各省庁の協力を得て、内閣府において行うこととなっている。また、意識調査については、推進要綱に基づき関係省庁が一体となり施策を推進していくこととなっており、地方自治体、民間等に委ねることは出来ない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する関係閣僚会議決定に基づき実施するものであり、また、意識調査についても関係閣僚会議で決定された推進要綱に基づき施策の進捗状況のフォローアップを実施するものとなっていることからともに優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	随意契約(少額)(見積りも合わせにより、より低廉な契約先を選択)
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	随意契約(少額)で実施している事業については、見積りを複数社から取り、より低廉な社と契約したり、積算単価を含め内容を精査するなど、コスト削減を図っており、妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰及び意識調査の実施に必要な経費に限定して予算計上し執行しているものであり、真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	職員旅費や委員等旅費については、パック等の利用や合理的・経済的な執行を行うことによる差額のためである。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰においては、最小限度の人員による合理的・効率的な旅費の執行に努めているとともに、平成25年度まで外部発注により実施していた「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の支援業務については、外部発注を止め、職員が直接執行することによりコスト削減を図っている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	バリアフリー認知度は、90%以上の達成度であり、成果実績は成果目標に見合ったものである。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の支援業務については、外部発注を止め、職員が直接執行する等の方法により低コストでの実施を図っており、他の手段・方法等は考えられないが、職員、委員等の旅費の執行については、引き続き、適正な執行に努めていく。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進経費として計上している予算は、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に係る経費及び意識調査を実施する経費であり、見込みと予算執行は合致するものとなっている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン功労者表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組みを広く普及させることを目的としており、受賞者やバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する活動を行う団体は更なる活動意欲が増進され、バリアフリーに関する認知度及びユニバーサルデザインに関する認知度を高め、高齢者・障害者を含めたあらゆる人々が安全で快適な社会生活が送れる社会システムの構築の一役を担うこととなる。 また、意識調査を実施することにより、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する認知度を把握し、要綱における数値目標での達成度合いを確認している。 これらの事業成果については、HP等に掲載することにより広く関係者等に活用して頂いているところである。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果		・事業の実施にあたり、職員による直接実施とするほか、旅費についてはパック等の利用をするなど予算執行の減額に努めた。 ・成果目標については、HPでのバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰、調査結果を掲載するなど広報・啓発を行い、達成度100%とはならなかったものの高い達成度となった。			
	改善の方向性		引き続き、予算の効果的・効率的な執行に努めるとともに、国民誰もが、障害者や高齢者等の自立した日常生活や社会生活を確保することの重要性について理解を深め、自然に支え合うことができるようにするため、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の更なる潜在的優良事例の発掘や、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査の調査項目を現状の課題に即したのに見直すなど事業内容を検討しながら、引き続き広報啓発活動を実施することによって、バリアフリー認知度を高め、さらに「心のバリアフリー」を推進させる。			
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	0128	平成23年度	0129	平成24年度	0125	/
平成25年度	0086	平成26年度	0082	平成27年度	0087	
平成28年度	0078					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.クロス・マーケティング			B.全日本ろうあ連盟東京手話通訳等派遣センター		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務費	調査・集計等	0.9	役務費	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功 労者表彰等における手話通訳料	0.1
	その他	消費税	0.1			
	計		1	計		0.1
	C.有識者A			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	諸謝金	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功 労者表彰選考委員会議出席謝金	0.1			
	委員等旅費	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功 労者表彰現地調査等旅費	0			
	計		0.1	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						
					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)クロス・マーケティング	9010001086351	インターネットによるバリアフリー化に関する意識調査	1	随意契約 (少額)	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	全日本ろうあ連盟 東京手話通訳等派遣センター	1011105000131	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(手話通訳料 ほか)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
2	(株)天賞堂	9010001050794	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(席の購入)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
3	扶桑速記印刷(株)	9010001027784	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会における運記	0.1	一般競争契約 (最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
4	(株)東京書技房	7010001099719	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(揮毫、筒の購入)	0	随意契約 (少額)	-	-	
5	(株)東京写真イメージング	5010401063805	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(写真)	0	随意契約 (少額)	-	-	
6	(一財)通商産業福祉協会	8010405009446	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰におけるテーブルクロス等	0	随意契約 (少額)	-	-	
7	(株)ニッコトラスト	3010001025934	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰における飲料等	0	随意契約 (少額)	-	-	
8	サントリービバレッジサービス(株)	6012401010323	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会における飲料	0	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	有識者A	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
2	有識者B	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
3	職員A	-	内国旅費バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰現地調査旅費	0.1	その他	-	-	
4	有識者C	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
5	麹町税務署	-	所得税	0.1	その他	-	-	
6	表彰者A	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰現地調査等旅費	0.1	その他	-	-	
7	有識者D	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
8	有識者E	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	その他	-	-	
9	有識者F	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0	その他	-	-	
10	有識者G	-	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰現地調査等謝金	0	その他	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	